

幕末京焼の三名工展

煌めく技巧

滴翠
美術館
秋季展



江戸時代後期に活躍した青木木米(あおきもくべい/1767-1833)、仁阿弥道八(にんなみ どうはち/1783-1855)、永樂保全(えいらくほぜん/1795-1854)の三人は幕末京焼の三名工と謳われました。青木木米は京焼の磁祖である奥田穎川に陶法を学び、煎茶器を中心とした中国古陶磁の写しを得意としました。仁阿弥道八は木米同様に穎川に師事し、茶陶から彫塑まで多種多様な作品を多く残し、和風京焼の世界を確立しました。そして永樂保全は土風炉師の永樂家11代目で、仁清写しや金襴手・交趾・染付に優れた作品が多く見られ、偕楽園焼や湖南焼といった御庭焼にも携わりました。本展覧会では吉郎兵衛の美意識から蒐集された三者三様の作品の数々をご紹介します。幕末の動乱期にありながらも、それぞれの世界観で切り開いた陶磁器の世界をご堪能いただければ幸いです。

2021
9.14 (tue)-12.12 (sun)
特別休館日 11.18 (thu) 19 (fri) 20 (sat)
「錦秋の茶会」
11.19 (fri) 20 (sat)
詳しくは裏面 ↓



滴翠美術館

TEKISUI MUSEUM OF ART

- 開館時間 | 10:00 ~ 16:00 (開館は 15:30 まで) 月曜休館
- 入館料 | 一般 630 円 / 高大生 420 円 / 中学生以下無料 ※ 団体割引 15 名様以上 2 割引き、その他各種割引あり
- アクセス | [電車] 阪急芦屋川駅より北西へ徒歩約 8 分, JR 芦屋駅より徒歩約 15 分, 阪神芦屋駅より徒歩約 25 分 [お車] 阪神高速道路芦屋出口より約 10 分
- お問合せ | 〒659-0082 兵庫県芦屋市山芦屋町 13-3 [TEL] 0797-22-2228
- HP | <http://tekisui-museum.biz-web.jp/>